

47

平成31年2月

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム 梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

H31.1月初茶会

ごあいさつ



理事長 林 一枝

年が変わり、亥年、平成最後の年になります。年末より口に亥と書く咳で拡散するインフルエンザが猛威をふるっている。天候の変化、乾燥が強いためか熱いは衰える気配はない。日本の気候も気象予報士泣かせな天候が続き昨年も災害の多い年になつた。そして今年は天皇陛下が退位され年号が変わるとの年の次となる。安倍総理大臣は先日の施政方針演説で、平成のその次の時代と連呼され、未来への期待を強く述べられたが、さてどのような時代がやってくるのであるうか。

加速してくる少子高齢化、それに伴う地域社会の脆弱化など社会構造が変化してきており、私たちの生活も否応なく変化を促されてくる。また、今後も自然災害が頻発することは予想され立山があるおかげで富山は災害が少なく安心だね、とどこか簡単に受け止めていたこの富山県も、昨今の気候を見ていると何か起こるかもしれないという大規模災害の整備をしていく必要がある。社会福祉法人の透明性を」と言われ始めて久しいが、中央と地域との温度差がなかなか埋められない現状で、私たちは社会福祉法人として福祉の場で専門性を發揮していくのは勿論のこと、地域住民に最も近く身近な問題を抱い上げて専門機関としての役割も二層發揮していく必要がある。日本としても節目の年になるが、私も理事長に就任し十年目の節目となる外科医の姉ちゃんだった私が、試行錯誤しながら皆さんのお力を借りて、一人一人の職員の成長と共に梨雲福祉会も成長して行きたい。今回から私の写真が変わった。そろそろ変えたほうが良いのかも、女になる。我が家には母の年齢は伏せてあるので、内密に。

平成31年2月

いきいきラボ

好評です!

準備運動から汗

指導員からアドバイス

負荷設定も自分で

みんな頑張っています

なかなかきつい…

四月からはじめた健康増進トレーニング「いきいきラボ」、週二回からの開催も三ヶ月で週四回、週五回と増やし、現在は一日二回に分けて十二人の皆様にご利用頂いています。

トレーニングの効果を見定を任意で行っています。指標と見比べて変化の確認とともに体が軽くなった等の効果を実感されています。

●●ご利用のお問合せは 梨雲苑Tel.436-2002 深野まで

吳羽丘陵清掃

留で集めたゴミは市役所の方に運びました

朝7時、清掃活動の開始です!

8時終了、とても暑くなりました

車道や歩道のゴミを集めます!

三十年十月七日(日)地域貢献活動として「吳羽丘陵をきれいにする日」に参加しました。台風前日でしたが、晴れ間に恵まれてすがすがしい朝のひと時でした。地元の自治会や長寿会の皆様と一緒に十五人の職員が参加しゴミを拾い集めながら交流を深めました。

発行所
社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

発行人
理事長 林 一枝
〒930-0142富山市吉田町1725
TEL (076) 436-2002
FAX (076) 436-2165
E-mail:riun1725@pb.ne.jp
URL:<http://www.riunen.com>

**チャリティバザーと
災害義援募金**
当法人の施設に募金箱を設置しています。
多くの団体にいただいたり、個人の募金を貯めたり、
平成最後の「梨の風通信」、施設行なうる法事の地域づく
指揮の御用意が頂ければ、
丸ごと、これからもお互いが支え合つて笑顔あふれる地域づくりになればいいな。
地域がやきアドバイザー

42,200円
全国老人福祉施設協議会を通じて
共同募金に資金を寄附して頂きました。
引き続き皆様の募金をお願い申し上げます。

編集後記

暖冬が予想された今季の冬、
ありがたいことに富山県は天気
予報もよくなり日々過ごしやす
い冬を感じています。お正月を
境内に平成最後の「梨の風通信」、施
設行なうる法事の地域づく
指揮の御用意が頂ければ、
丸ごと、これからもお互いが支え合つて笑顔あふれる地域づくりの時代の流れだろうか。
平成最後の「梨の風通信」、施
設行なうる法事の地域づく
指揮の御用意が頂ければ、
丸ごと、これからもお互いが支え合つて笑顔あふれる地域づくりになればいいな。
地域がやきアドバイザー

平成31年2月

梨雲苑カラオケ大会

優勝は山本長寿会さま♪
来場100名を越える皆さん
応援にも力が入ります
会場も盛り上がってます

豪勝は山本長寿会さま♪

来場100名を越える皆さん

応援にも力が入ります

会場も盛り上がってます

第7回パークゴルフ大会

高齢者の皆様が取り組む健康づくりの具体的な活動として行われるパークゴルフ。年々参加人口も増えて会場となる下村パークゴルフ場はいつも混雑しています。梨雲苑では地域貢献として活動を支援することと、職員も交流できれば一緒に参加させてもらっています。未熟で足を引つける職員に笑顔で優しく教えてくれる参加者の皆様に感謝しています。

始球式は理事長と長寿会長でナイショット
今年も下村がアツいです
30年度パークゴルフメンバー
長寿会連合会の開会のご挨拶

すがすがしい快晴のもとでスッキリです

杉谷地区の農業体験会に参加しました

杉谷地区的農業体験会に梨雲苑を誘ってもらうようになつて4年目となります。かぼちゃ、じゃがいも、大根と続き施設と一緒に行った利用者の皆様が慣れた手つきで上手に作業をされるので若い職員は教えてもらう立場でした。そして秋には広い畑に種まきや苗を植えていくのも、一緒に歩いた利用者の皆様が慣れた手つきで上手に作業を楽しむに活動参加を心待ちにしていました。

慣れた手つきで畠仕事
種まきを始めます
豊作にご満悦!

ふろふき大根
酢の物

講師
特別養護老人ホーム・
芦花ホーム常勤医
医師 石飛 幸三先生

プロフィール

1935年 広島県生まれ。
1961年 慶應義塾大学医学部卒業。
同大学外科学教室に入局後、
1970年 ドイツのフェルディナント・
ザウアーフルップ記念病院
に血管外科医として勤務。
1972年 東京都済生会中央病院勤務。
30年にわたって頭頸部内膜
剥離術などを血管外科の発展
に寄与する一方、慶應義塾
大学医学部兼任講師として
血管外傷を講義。

1993年 東京都済生会中央病院副院長。
2005年 12月より現職。診療の傍ら、
講演や執筆、メディアを通して、
老衰末期の看取りのあり方に
ついての啓発に尽力している。

三十年十月七日(日)梨雲福社会では平成三十年度
「福祉講演会」を開催いたしました。
超高齢化が社会的な問題であり、なかでも終末期をどう
迎えるか、病院や施設でその人らしさや尊厳は守
られるのか?いずれ迎える我が身にも降りかかる大き
な不安。(参加総数二六名)
特別養護老人ホーム常勤医師を務める石飛幸三先生
が提唱する老いと共に迎える平穡死」をテーマに「講
演を頂きました。
ホーム入居者のご家族をはじめ介護や看護の職員
が看取り介護に携わる
場面でどのように支援
していくかを改めて考
える良い機会となりま
した。また、高齢化を身
近に感じている地域の
長寿会や民生委員の皆
様にも講演会に参加い
ただきました。



▲石飛先生の体験をもとに
終末期を迎える本人、家族、
支援者のそれぞれの想いを肯定的に解説し講演して頂きました。



▲入居ご家族をはじめ地域の民生
委員や住民の皆様に講演を聴いて
頂きました。

家族会総会

十月七日(日)、梨雲苑ゆうゆうにて
家族会総会が行われました。家族会
長の挨拶のあと、事業報告及び決算報
告、来年度の事業計画と予算案等につ
いて議事が進行されました。

家族会では入居されているご家族
の親睦を図ることを目的とし、施
設の運営や生活環境の整備にご協力
を頂いています。総会の中では、「来年
度は「平成」から何になるのでしょうか
ね」等の会話もありました。引き続き
同士の理解ご協力ををお願いして閉会と
なりました。

杉谷地区的農業体験会に梨雲苑を誘つ
てもうようになつて4年目となります。
かぼちゃ、じゃがいも、大根と続き施設と
しても収穫を楽しみに活動参加を心待ち
にしています。

広い畑に種まきや苗を植えていくのも、
一緒に歩いた利用者の皆様が慣れた手つ
きで上手に作業をされるので若い職員は
教えてもらう立場でした。そして秋には広
い畑を歩き回つてたくさんの収穫に苦労
もしましたが、その量と食べるところの楽し
みで大いに満足しました。

梨雲苑 クリスマス会

十二月は苑内でも大きな行事「クリスマス会」があります。入居されている皆様をはじめご家族や職員も楽しみなイベントです。二階六ユニットは二十一日、一階三ユニットは二十四日の開催で、久しぶりにご家族と一緒に食事して、ボランティアの皆様の歌や演奏を楽しむ機会となりました。

1Fクリスマス会風景

みんなでクリスマスソング

トナカイ女子と乾杯

人気のバザー

パン販売

KOBスイングエコーズ演奏

VITAウクレレクラブ演奏

ゆうゆう クリスマス会

十二月二十三日(日)、梨雲苑ゆうゆうホームのクリスマス会が開催されました。サンタクロースによるプレゼント贈呈のほか、ピンゴゲームやコンサートでご家族と一緒に楽しく過ごされる入居者の笑顔が印象的でした。

プレゼントに松里さんの笑顔

高林さんご満喫

お楽しみbingo

梨雲苑 第27回夏祭り

今年で二十七回目となる梨雲苑の夏祭り。入居者の皆様がご家族と一緒に過ごす大切な行事として開催しています。毎年お楽しみイベントとしてステージ演出を企画。今年はウクレレとパンド演奏のボランティアに来て頂きました。デイサービスを利用されている方や地域の民生委員、町内の皆様も来場され、一緒に見て、聞いて、飲食を楽しむことができました。

みんなでクリスマスソング

2Fクリスマスバンド演奏会

ゆうゆう 第5回夏祭り

八月二十六日(日)、梨雲苑ゆうゆうホームの夏祭りが開催されました。ステージでは寒友会様による民謡、屋内駐車場ではバザーや屋台(焼きそば、かき氷など)が開かれ、地域の皆様にも多数来院いただき盛況でした。

大人気の力丰氷

チャリティバザーで品定め

寒友会の皆さん



慣れた地域でいつも健康に暮らすことができるよう、老人クラブで介護予防を推進する役割を担っています。たとく「介護予防推進リーダー」を委嘱しています。任期は二年間で、水飲み運動の啓発活動などに取り組んで頂いています。

包括支援センターでは年二回、「リーダーさんとの情報交換会を開催し、活動の取り組み状況や地域の課題などについて意見交換を行っています。貴重なご意見を、今後の地域包括支援センターの活動にも活かして行きたいと思います。



富山市では、住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らすことができるよう、老人クラブで介護予防を推進する役割を担っています。たとく「介護予防推進リーダー」を委嘱しています。任期は二年間で、水飲み運動の啓発活動などに取り組んで頂いています。

県羽地域包括支援センター 情報交換会 介護予防推進リーダー

楽しくて便利な梨雲苑のお買物コーナー

介護施設をご利用される皆様の「利用のついでに買物できれば」との思いに応えるため、百円ショップ「手のひらマルシェ」を運営しています。お菓子や保存食品が主な商品ですが、買物の楽しみもあり好評です。一方、社会福祉法人として地域とのつながりを深める地域貢献活動としても近隣農家の野菜直売コーナーを設置しています。売る方も買う方も地域の皆様で、季節の採れたて野菜をはじめ果物や漬物、惣菜などが地元の農家やお店から日々届いています。

デイサービス利用者の皆様をはじめ会のご家族、苑を訪問されるお客様が喜んで利用されています。

梨雲苑のお買物コーナー

新鮮野菜
マルシェ100円コーナー
りんごや蜂蜜も

真剣な見立て

地域の贈り物

地元の皆様から「家の畑で採れた野菜、施設の皆様はどうぞ」と差し入れを頂きました。地域から頂いた野菜や果実などは、入居者やデイサービス利用者の皆様と食事やクリスマス会などの行事食として使用させていただいています。ご好意ありがとうございます。

粒ぞろい柚子
大粒です!
大きな芋
りっぱな葱
みかん
されいな白菜
10月のさつまいも

さいさい

梨雲苑

ゆうゆう

梨雲苑 検索

ホームページも是非ご覧ください!

<http://www.riunen.com/>

体にまかせか♪
「根菜としょうがのスープ」

寒い日が続き、風邪やインフルエンザにかかりやすい時期になりました。日常では手洗いやうがい等の予防も大切ですが、食事の面では普段から栄養バランスのとれた食事を継続的に摂ることを心がけましょう。そうすることで免疫力や抵抗力が上がり、健康を維持することができます。

そこで、今は旬の野菜を使つた風邪予防レシピを紹介します。

管理栄養士

厨房

今年はこのようなおせちを元旦の昼食に提供しました。

元旦の昼食におせちを通して季節感を感じて頂ければと思います。

3月 回転寿司

9月 敬老の日お祝い膳

●託児所があることで、保育園の心配なことなく安心して職場復帰ができました。職員や利用者様が子ども達の顔や名前を覚えてくださり、成長と一緒に見守つたたけることをとてももうれしく感じています。(清水)

●利用して良かったことは、息子が施設内で高齢者の皆さんと触れ合ふことで、あまり見知りしないことです。大祖母が入居している他施設に行ったときも嫌がることなく自分から皆様に触れ合い場を和ませていておりました。先生たちが苑の入居者や利用者の皆様との交流機会を作っているとの賜物と感じ、子供の成長につながっていると感謝しています。(佐川)

●事業所内にある託児所なので、熱が出たときすぐに様子を見に行くことができるので、近いということは本当に助かっています。(山田)

●保育園に入れない人も多いなか、育児休暇からの復帰も保育園を気にせずにできるので良いと思います。近くで子供を見てもらえて連絡が早い安心感と、終業後のお迎えもすぐに行けるので子供も安心しています。親としてもすぐに子供の顔が見られる喜びと、帰宅までの時短になって本当に助かっています。(中川)

事業所内託児所で子育て支援!

「育児休業からの円滑な職場復帰、子育てしながら働き続けられる」、「子育て世代に仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくり」として事業所内託児所を運営しています。仕事と生活の調和が取れた働き方がでる社会の実現に向けて取り組みしています。

ゆうゆうガーデン

●託児所があることで、保育園の心配なことなく安心して職場復帰ができました。職員や利用者様が子ども達の顔や名前を覚えてくださり、成長と一緒に見守つたたけることをとてももうれしく感じています。(清水)

ユニットリーダー 実地研修施設
として二年目を迎え、今年度は県内外から三十九名の実習生を受けました。四日間の実地研修で実習生からは「台所から聞こえる茶碗や水道の音に生活感を感じる」「地域住民の出入りが盛んで地域に密着している等の感想が聞かれ、ユニットケアの理念である「暮らしの継続」を実感して頂けたようでした。指導した職員達もあらためて介護職としてのやりがいを感じ、職員のペースでなく入居者個々の二十四時間に合わせた開けっぴろぎであると再認識することができました。

研修後はそれぞれの施設での実践に取り組みます。自指すべきアート実現に向けて、お互いに頑張りました。しかし、また云いましょう!笑顔で研修を終えました。

平成30年度		ユニットリーダー研修				講師委嘱入数(人)
		富山県	石川県	福井県	新潟県	
受講期間	回数	2	3	1	6	
5/13~15	2	3	1	6	17	
8/27~29	6	6	0	0	17	
10/2~4	3	12	0	0	15	
	11	21	1	6	39	



生活相談員 紹介

生活相談員となり四年が経ちました。振り返ると、一つひとつ出来事が、私にとって何にも代えがたいものでした。これからも皆様に「ほつ」としてもらえるよう、日々努力してまいります。

ゆうゆう生活相談員 矢後 左和子

梨雲苑生活相談員 玄司 文哉